

E. Houdremont u. H. Mussmann. S. 903~907
Beheizung, Leistung und Wärmeverbrauch
von Verzinkungsöfen. H. Wübbenhorst.
 S. 907~913

国内最近刊行誌参考目次

—学協会誌—

日本金属学会誌 20 (1956) 6

黒鉛鋼に関する研究 (Ⅲ) 黒鉛鋼におよぼす Ti, V
 および B の影響. 佐藤知雄外…pp. 297~300

応力時効処理による鋼の材質の変化について (Ⅱ) 加
 工温度および冷却法の影響. 桜井忠一外… pp. 300
 ~304

硬質条鋼の熱間圧延の孔型と横断面における流動組織
 分布との関係ならびに表面に生成する二, 三の欠陥
 について. 太田和一…pp. 304~308

酸性河水発電所における腐蝕および防蝕の研究 (XVI)
 高 Cr 鋼の耐蝕性におよぼす熱処理の影響ならび
 に溶接部の腐蝕について. 沢田可信…pp. 308~311

Quantometer 分析法の研究 (Ⅱ) 鉄鋼中の微量元素
 主として B, Al, Sn の定量について. 大藤能親外
 pp. 315~319

鉄鋼中の錫の光度定量法 (Ⅲ) ジエチルジチオカーバ
 ミン酸ナトリウムを用いる錫の光度定量およびその
 鉄鋼中の錫定量への応用. 後藤秀弘外… pp. 319~
 322

鉄-ニッケル合金のマルテンサイト晶の電子顕微鏡組
 織に現われる微細縞について. 西山善次外…
 pp. 325~328.

焼入冷却剤の研究 (Ⅸ) 鋼焼入によつて求めた焼入強
 裂度 H について. 多賀谷正義外…pp. 336~339

鉄鋼中の炭化物の電解分離による研究 (V) セメンタ
 イトのキューリー点におよぼす各種元素の影響.
 佐藤知雄外…pp. 340~344

鑄物 28 (1956) 8

キューポラに関する研究 (Ⅱ) 炉内の風の流れにおよぼ
 す羽口の影響について. 石野 亨…pp. 541~548

熔銑の溶滓電解処理法の研究 (Ⅰ) 熔銑の脱硫につい
 て. 丸山益輝…pp. 549~553

鑄物砂用粘土の 2, 3 の性質について. 木戸行男…
 pp. 553~559

鑄包みの研究 (Ⅷ) 鑄鉄~鋼系の接着現象について.
 村木庸益…pp. 565~572

熔接学会誌 25 (1956) 7

熔着鋼中の気孔および非金属介在物におよぼす鋼心線
 のマンガンおよび珪素含量の影響について.
 関口春次郎外…pp. 381~385

耐熱 Cr-Mo 鋼の溶接試験 (Ⅰ) 河村敏一外…
 pp. 386~391

熱影響部の脆化について (Ⅷ) 応和俊雄… pp. 391~
 398

— 25 (1956) 8

耐熱 Cr-Mo 鋼の溶接試験 (Ⅱ) 河村敏一外…
 pp. 433~437

熱影響部の脆化について (Ⅸ) 鋼材の圧延異方性と脆
 化領域. 応和俊雄…pp. 438~444

造船用厚鋼板の板厚効果に関する 2, 3 の実験.
 吉田俊夫外…pp. 444~455

材料試験 5 (1956) (35)

鋼の疲労変形におよぼす繰返速度の影響. 河本実外…
 pp. 486~488

引張繰返曲げ組合せ応力の下における高温疲労に関す
 る研究. 西原利夫外…pp. 489~492

— 5 (1956) (36)

低温焼入による鋼の材質の変化について (Ⅰ) (中炭
 素鋼の疲れ強度および衝撃強度) 桜井忠一外…
 pp. 531~536

軟鋼の第一期クリープにおよぼす温度効果. 西原利夫
 外…pp. 536~540

疲労亀裂の先端の応力について. 石橋 正外…
 pp. 540~543

金属物理 2 (1956) 4

鉄多結晶体の点欠陥にもとづく内部摩擦.
 橋口隆吉外…pp. 163~164

熱管理 8 (1956) 6

ガス平均試料採取装置内の CO₂ 吸収量について.
 中村正男外…pp. 13~16

潤滑 1 (1956) 1

軸受鋼の Fretting Corrosion. 服部 喬外…
 pp. 39~42

ころがり軸受の軌道面における Fretting Corrosion
 について. 小野 繁外…pp. 49~51

分析化学 5 (1956) 7

鋼, 銑鉄, 特殊鋼ならびに鉄鉱石のスズ定量法.
 池上卓穂外…pp. 379~383

— 5 (1956) 8

鉄酸洗液中遊離酸, 硫酸第一鉄, 硫酸第二鉄の迅速作

業分析法の研究. 向江脇公雄: pp. 446~449

—研究機関—

生産研究 8 (1956) 7

鉄鋼中のガス分析. 坂上六郎外...pp. 310

運輸技術研究所報告 6 (1956) 7

溶接構造用高張力鋼の研究の展望. 木原 博外...
pp. 241~288

東京大学生産技術研究所報告 5 (1956) 9

鑄造における湯の流れに関する研究. 千々岩健児...
pp. 248~325

資源技術試験所報告 (No. 36)

磷酸法による遊離珪酸定量法. 梅崎芳美...pp. 1~13

— (No. 37)

加熱炉における石炭燃焼に関する研究—排ガス循環注
水式燃焼法. 小泉陸男外...pp. 1~31

東北大学研究所報告 8 (1956) 4

Magnetic Properties of Magnet Alloys of Iron
Wolfram and Molybdenum

H. Masumoto and Y. Shirakawa. pp. 319~324

Influences of Arsenic on the Analysis of Iron
& Steel III. *H. Goto and S. Watanabe.*

pp. 325~331

Rapid Determination of Aluminium in Iron
and Steel. *Y. Kokita and Y. Yokoyama.*

pp. 332~336

On the Activities of Cr and C in Molten Fe-
C-Cr Alloys. *M. Otani* pp. 337~351

Rate of Desulphurization of Molten Iron by
Slag under Reducing Conditions I (Influ-
ences of Si & Mn) *Y. Kawai.* pp. 352~360

東北大学選鉱製錬研究所彙報 12 (1956)

砂鉄層中の含水酸化鉄について. 竹内常彦外...
pp. 1~6

含チタン砂鉄鉱の選鉱学的研究 (V) 東北産沖積砂鉄
の 2・3 の鉱物学的性質. 和田正美外...pp. 7~18

炭素飽和溶鉄中の珪素およびマンガンの拡散 (補遺)
斎藤恒三外. pp. 27~30

Greenawalt 式小型焼結機による鉄鉱石の焼結試験
(I) 各種鉄鉱石単味の焼結性ならびに顕微鏡試験.

三本木貢治外. pp. 31~46

硫化鉄鉱の流体焙焼. 渡辺元雄外. pp. 57~70

鉄鋼業の一貫化と生産集中についての一考察. 森永孝
三. pp. 71~79

科学研究所報告 32 (1956) 4

珪素鋼板の熱処理について (I) 武井 武外...
pp. 101~106

EDTA による製鉄, 製鋼鉱滓のカルシウムおよびマ
グネシウム迅速分析法. 北原三郎外...pp. 119~124

日本工業規格マンガン鉱石中の二酸化マンガン分析方
法検討. 北原三郎外...pp. 124~129

リン酸マンガン (II) による分析法の研究 (IV) マン
ガン鉱石中の二酸化マンガン迅速分析. 谷野孝一...
pp. 129~143

—会社刊行誌—

電気製鋼 27 (1956) 3

バルブ鋼の研究

○相析出硬化型バルブ鋼について (その1) 錦織清治
外...pp. 105~111

熱間プレス工具の Heat Checking に関する実験的
研究 (I) 実用 Press Mandrel の Heat Chec-
king について (その1) 藤原達雄...pp. 112~126

耐熱バネ鋼の研究. 浅田千秋外...pp. 127~132

製鉄研究 (214)

洞岡第1高炉の改修ならびにその後の操業経過につい
て (II) 白石芳雄...pp. 1221~1230

リムド鋼の溶鋼温度に関する研究 (I) 山野井博外...
pp. 1231~1249

新設換熱式均熱炉について (I) 平倉園衛外...
pp. 1250~1269

日本鋼管技報 No. 6

ガス圧接リブバーの材質調査. 木村 大...
pp. 147~152

OR を利用した均熱炉の装入計画. 松原博美...
pp. 153~156

海水による鉄鋼の異常腐蝕に関する研究. 菊池浩介外...
pp. 175~181

標準試料による石灰灰分分析誤差の検討 (I) 宮津隆
外...pp. 182~190

日立評論 38 (1956) 7

鉄鋼顕微鏡試料の電解研磨について. 菊田光男外...
pp. 965~970

低合金鋳物の研究 (I) -Mn, Cr, Mo を含む低合金
鋳鋼の機械的性質について. 真島卯太郎外...
pp. 971~980

— 38 (1956) 8

低 Mn 鑄鋼タイヤの熱処理の研究. 小林英敏…

pp. 1056~1063

高速度鋼の鍛造方法による組織の改善. 橋本善利外…

pp. 1088~1091

日立造船技報 17 (1956) 3

工具に関する窒化の研究. 橋本博雄…pp. 100~103

ステンレス鋼の応力腐蝕について. 中村 勇外.

pp. 104~108

神戸製鋼 6 (1956) 2

オーステナイト結晶粒度調整(微細化)に関する研究

(Ⅱ)脱酸剤としてのアルミニウム添加に関する 2,

3の問題(その1)高尾善一郎外…pp. 45~55

平炉の自動制御(Ⅰ)岡 勇外…pp. 57~68

耐磨耗用肉盛合金(Ⅱ)秋本英夫…pp. 89~95

— 6 (1956) 3

オーステナイト結晶粒度調整(微細化)に関する研究

(Ⅲ)脱酸剤としてのアルミニウム添加に関する 2,

3の問題(その2)高尾善一郎外…pp. 99~110

熔接部の亀裂試験と鋼材ラミネーションの影響(その

1) 応和俊雄…pp. 119~129

平炉の自動制御(Ⅱ)岡 勇外…pp. 130~134

富士製鉄技報 5 (1956) 3

微粉硫酸滓の焼結試験. 高橋愛知外…pp. 228~233

仲町第3高炉改修について. 中島長久…pp. 234~246

平炉操業と製鋼能率. 森永孝三…pp. 247~256

高圧冷コークス炉ガスによる平炉の操業について.

村田 巖外…pp. 257~264

圧延工場における機械的故障について. 牧野 孝.

pp. 265~275

丸鋼孔型の設計および孔型法の考察(Ⅰ)

菊地博治. pp. 285~299

平面試料による分光分析法(Ⅰ)州村和郎…

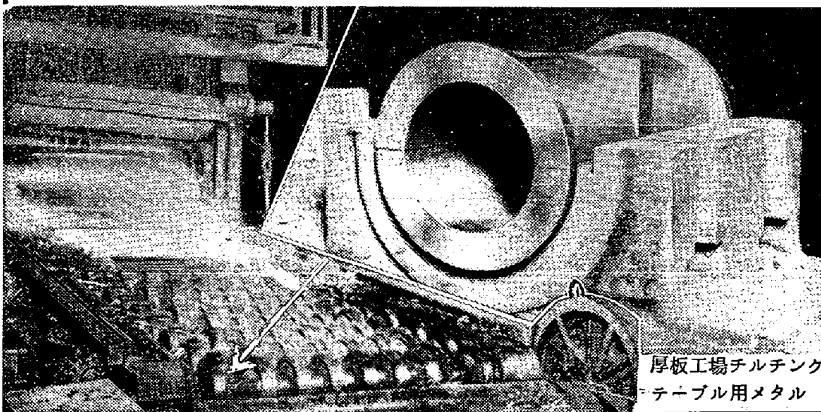
pp. 300~301

高周波燃焼法による鉍石中硫黄の迅速定量について.

塚田 実…pp. 307~311

登録 オイレス 商標

特許 井300 含油鉄材メタル



特徴 1. 高温度に特に優秀. 2. 寿命四~五倍. 3. 注油回数が減る. 4. 焼付が生じない.

適用 1. 高温で注油の効果なき所. 2. 取替又は故障の多い所. 3. 注油困難又は危険な所及高所等

生産能率の増進は

機械の稼働率の向上から

御一報により説明書送ります。
場合により説明に参上します。

日本オイレスベアリング研究所
代理店

三和機械株式会社

東京都千代田区神田佐久間町3-24
電話 下谷(83) 7426番